

【令和5年度 技術科授業改善推進プラン】

技術科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
材料加工、生物育成や情報基礎的な知識や技能を習得し、身近な生活の課題を主体的にとらえ、具体的な実践を通して、問題を解決する技術を身に付けた生徒の育成。

学習状況及び課題

| | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 |
|--------|---|--|---|
| 学習状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に関心をもって取り組む生徒が多い。 ・ローマ字入力等のコンピュータの基本操作はスムーズにできる生徒が多い。 ・立体を瞬時に表現できる生徒が多いが、全くイメージできない生徒もいる。 ・作業経験の少ない生徒がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ操作は問題なく行うことができるが、不慣れな表計算には、苦手意識を見せる生徒もいる。 ・興味、関心をもって授業に取り組む生徒が多く、与えられた課題に対し真面目に取り組むことができる。 ・ハンダ付け作業が初めてという生徒がほとんどである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少ない授業時間に、集中して取り組んでいる。 ・興味・関心をもって授業に取り組むことができる生徒が多い。 ・コンピュータ操作には慣れているが、プログラミングに不慣れな生徒が多い。 |
| 指導上の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・工具、機械の正しい使用方法を教え、安全かつ円滑に作業をさせる。 ・生活の中の技術を意識させる。 ・週1時間で指導内容も多く製作や作業も行うので、時間的な制約が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・工具の正しい使用方法や起こりうるけがを教え、安全かつ円滑に作業をさせる。 ・週1時間の授業という特性があり、製作や作業も行うので、時間的な制約が大きい。 ・製作に不慣れな部分がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・隔週の授業であるために基本的なスキルや知識の定着が乏しい。 ・プログラミングは学習内容の定着や発展的な学習が難しい。 ・進学、就職を意識させ、将来活用できる能力の育成が必要である。 |

改善プラン

| | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 |
|-----|--|---|---|
| 学習面 | <ul style="list-style-type: none"> ・実物に触れる機会を多くし、体験させ、技術と各家庭生活を考えさせる。 ・実生活との関連を十分意識して学習に取り組む。 ・「なぜ」、「どうして」を意識して学習に参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・参考とする資料を用意し、安全に作業を進める。 ・作業は特に安全に留意する。製作工程を理解させ、使用する工具など必要に応じて使用する。 ・生物育成の技術と生活や社会、身近な環境との関わりを理解させる。 ・情報では、身近な課題を設定し、社会に出て活用できる能力の育成を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活に活用できる技能を習得させるべく、コンピュータに多く触れさせる。 ・生活に密着したものである意識やゴールを意識させ授業に取り組む。 ・身近なプログラムを考えさせ、情報と密接な関係を気づかせる。 ・機能と設備など、機械的な理解を進める。 |

| | | | |
|-----|--|--|--|
| 指導面 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業を進めるために実際に作業して見せる。 ・正確にしかも速く作業することを常に意識させる。 ・大切な工具や部品の名称を正確に覚えるよう板書を工夫する。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう行動させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切なソフトウェアを選択し、操作することで、情報処理に必要な技能を習得させる。。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう、実践し行動させる。 ・工夫して生物を育成する喜びを体験させ、収穫までの変化や日々の記録をさせる。 ・技術と実生活の関わりを常に考えて、授業に参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ操作の基本を習得させる。 ・完成を意識し、そこに向かう手立てを考え、適切なプログラムを模索する。そのための命令を伝え実行する。 ・情報収集とモラルを正しく実践できる力を育めるよう、実践し行動させる。 |
|-----|--|--|--|

評価

| | | |
|---------------------|------------------------|----------|
| ① 授業アンケート結果による達成度評価 | ②各学期の定期テストの結果 | ③保存された内容 |
| ④ 実習による技能の習得 | ⑤ワークシート等による実生活への発想及び展開 | |